

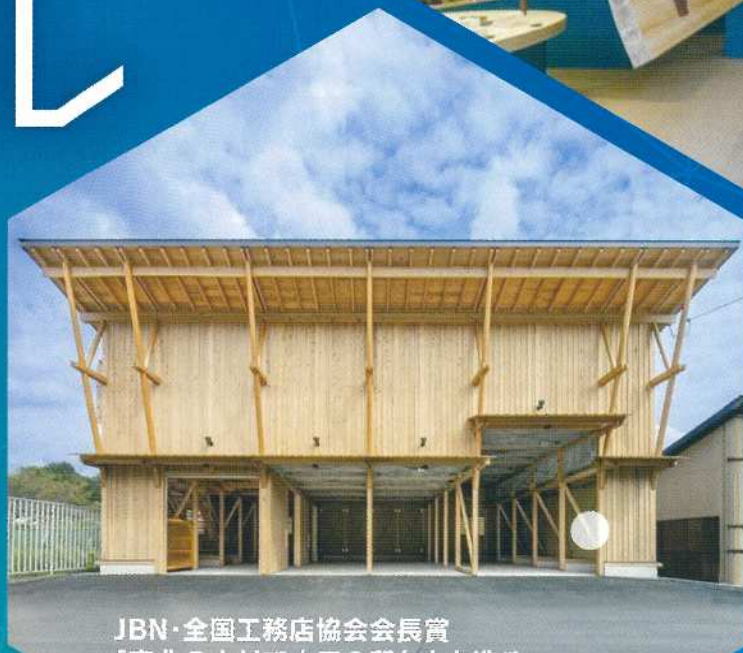
木材活用 コンクール

農林水産大臣賞
「エバーフィールド木材加工場」
©YASHIRO PHOTO STUDIO

第29回



林野庁長官賞
「meet tree GINZA」
©Masao Nishikawa



JBN・全国工務店協会会長賞
「京北の木材で大工の卵たちと造る
磨き丸太方丈のある木造倉庫」

©山田 圭司郎



第4部門賞
「Fat Wood Shoji / 肥松の障子」

©Muneji Toh Architects

上記写真は第28回木材活用コンクールの受賞作品です

主催：日本木材青年団体連合会 特別協賛：㈱アンドバッド 協賛：一般社団法人 JBN・全国工務店協会、JKホールディングス㈱
後援：農林水産省、国土交通省、公益財団法人 日本住宅・木材技術センター、一般社団法人 全国木材組合連合会、公益社団法人 日本建築家協会、
一般社団法人 日本建築学会、一般社団法人 日本インテリアプランナー協会、公益財団法人 日本デザイン振興会、
公益社団法人 日本建築士会連合会、一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会、一般社団法人 JBN・全国工務店協会

木材活用
コンクール
公式サイト



第29回 木材活用コンクール 募集要項

応募部門

- A-1部門** 木造(混構造も可)または内外装木質化を実施した建築物(延床面積300㎡以上)
A-2部門 木造(混構造も可)または内外装木質化を実施した建築物(延床面積300㎡未満)
B-1部門 木製品(家具、玩具、建具、遊具など。木材の部分的利用も可)
B-2部門 木材活用プロジェクト
(国産材の需要拡大や高付加価値化に向けたソフト事業)

※A-1部門とA-2部門をA部門、B-1部門とB-2部門をB部門とします

表彰

- 最優秀賞** 2作品 農林水産大臣賞(1作品) 国土交通大臣賞(1作品)
優秀賞 10作品 林野庁長官賞(2作品) 公益財団法人日本住宅・木材技術センター理事長賞(2作品) 一般社団法人全国木材組合連合会会長賞(2作品) 一般社団法人日本インテリアプランナー協会賞(1作品) 一般社団法人JBN・全国工務店協会会長賞(1作品) 日本木材青壮年団体連合会会長賞(2作品)

- 特別賞** 2作品 DX賞(2作品)
・その他に部門賞(4作品)、木材活用賞(4作品)、日本木材青壮年団体連合会の会員が選ぶ「木質顕彰賞(1作品)」などを加え、総計23点を予定。・受賞者には賞状が授与されます。
注意事項 ・応募作品は返却できませんので、あらかじめご了承ください。・第三者の著作権、工業所有権、知的財産権を侵害すると判断されたものは、受賞結果発表後でも受賞を取り消すことがあります。・応募作品の発表に関する権利は主催者側に保有します。(但し、当コンクールが継続的に開催されている場合に限り)。・応募者の個人情報は、厳重に管理し、運営上の連絡や資料等の発送のためのみに利用します。・応募書類の仕様書審査については応募内容が真実なことを前提に行います。・受賞作品の所在地を作品広報のために木材活用コンクール公式サイト(<https://mokusei.net/mkc/>)に掲載させていただきます。(なお、一般住宅や、所在地を公表する事で個人のプライバシーを侵害する可能性のある作品の所在地掲載はいたしません。)

審査委員会

審査委員長 深尾 精一 首都大学東京(現 東京都市大学)名誉教授

審査委員	秋吉 浩気	VUILD株式会社 代表取締役CEO
	池田 靖史	東京大学 工学系研究科建築学専攻 特任教授・建築情報学会 会長
	大島 敦仁	国土交通省 住宅局 住宅生産課 木造住宅振興室長
	大西 麻貴	大西麻貴+百田有希/o+h共同主宰・横浜国立大学大学院 教授
	川原 聡	林野庁 林政部 木材産業課 木材製品技術室長
	霜野 隆	一般社団法人日本インテリアプランナー協会 顧問
	竹村 優里佳	Yurica Design & Architecture 主宰

審査委員	中島 史郎	宇都宮大学 地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 教授
	長谷川 泰治	日本木材青壮年団体連合会 会長
	宮澤 俊輔	公益財団法人日本住宅・木材技術センター 理事長
	安成 信次	一般社団法人JBN・全国工務店協会 会長
	山代 悟	ビルディングランドスケープ 共同主宰・芝浦工業大学 建築学部建築学科 教授
	若杉 浩一	武蔵野美術大学 造形構想学部 教授

(五十音順)

応募方法

日本木材青壮年団体連合会ホームページ内、木材活用コンクール公式サイト(<https://www.mokusei.net/mkc/>)から応募してください。

■手順

①事前準備

応募登録を始める前に上記木材活用コンクール公式サイトからダウンロードした「応募用紙」(Excel)に必要事項を記入したファイルと「作品データ」(PDF)を用意してください。

■「応募用紙」(Excelファイル)について

・所定の申込み専用紙をダウンロードしていただき、必要事項を記入したものとします。

・応募用紙の記入については、記入例をご参照ください。

・使用木材について、できるだけ詳しく記載してください(材種、寸法、JAS製品、合法木材、地域認証材など)。

■「作品データ」(PDF ファイル)について

・自由フォーマットとしますが、作品名称、図面(建築物の場合は平面図、断面図を必ず載せてください)、写真、主旨説明文(600字以内)を、A2サイズ(420mm×594mm、横置き)1枚に構成したものとします。

・データ容量は10Mバイト以内とします。

※PDFファイルはパソコンでの予備審査、及びプロジェクターでの最終審査に使用します。

※PDFデータ作製にあたり、必ず、画面の拡大・縮小を行なっても文字データが読める形式で作製をお願いします。

※審査の公平を期するため、作品データ内、応募用紙の主旨説明文等に設計者・施工者が特定できる情報の記載はご遠慮ください。Ex)社名、屋号、ロゴ等

②応募登録

上記木材活用コンクールのページから「応募登録ページへ」をクリックし、「応募登録」ページへ移動してください。「応募登録」ページにて必要事項を入力し、「応募用紙」(Excel)及び「作品データ」(PDF)をアップロード後、「確認」ボタンをクリックしてください。

正常に登録完了すると、「応募情報受付画面」が表示されます。以上で応募登録

応募される資料を対象に、下記の項目などを考慮して審査いたします。

- 木の良さが活かされているもの
- 木材の新しい用途の普及に寄与するもの
- 建築物の木造化、木質化に波及効果があるもの
- 木材の利用を通じて豊かな暮らしや社会を実現するもの
- 木材の地球環境貢献効果が情報発信されているもの
- 未来の山を創るために、木材を巧みに利用したもの
- 設計施工、流通、加工等に関してデジタル技術を用いた革新的なもの

応募資格

応募物件の設計者、施工者、建築主、またそれらの合同。及び応募作品のデザイン事業者、生産者、販売者、エンドユーザー(所有者・当事者)。ただし、相互に了解を得ていること。また、連名での応募も可能です。

応募条件

A-1・A-2部門 | 建設・設置地域は国内とし、令和4年1月1日～令和7年12月31日までに完成したもの

B-1部門 | 令和7年12月31日までにユーザーが購入または利用できるもの

B-2部門 | 令和4年1月1日から令和7年12月31日までに実行したもの

募集期間

令和7年12月1日～令和8年1月15日 ※1月15日当日受領まで有効

結果発表

結果発表は、令和8年4月上旬頃にプレスリリースにより行う予定です。

表彰式

表彰式は、令和8年6月13日(土) 日本木材青壮年団体連合会 第71回全国会員関東大会(東京都内)にて行う予定です。

※受賞作品は事務局で印刷しA2サイズのパネルを作成します。ただし、データ解像度の内容によっては、新たに印刷用のデータを提出していただく場合もございます。

お問合せ先

日本木材青壮年団体連合会 木材活用委員会 委員長 外山 勝浩
木材活用コンクール事務局

〒135-0041 東京都江東区冬木6-14 飯沼ビル102 TEL:03-5620-4806 FAX: 03-5620-4809 MAIL: mkc@mokusei.net